

石岡市を取り巻く自転車利用環境の課題

現状分析

【特徴・人口】

- ・筑波山系や丘陵地、平地と変化に富んだ地形の形成、霞ヶ浦や恋瀬川等の水に恵まれている。
- ・近代建築物（看板建築等）等の歴史性の高い建造物が数多く存在している。
- ・人口減少にあり、核家族化や一人世帯が増加している傾向にある。

【観光・土地利用】

- ・多くの観光資源に恵まれており、観光果樹園や朝日里山学校等体験型の施設がある。
- ・農地・山林等の自然的土地利用が、市全域の約80%を占め、宅地や道路等の都市的土地利用が約20%。

【交通】

- ・市内にJR常磐線の石岡駅と高浜駅があるが、多くのバスの1日の運行本数は10本未満である。
- ・市内廃線となった鹿島鉄道線を利用したBRT専用路線が整備されている。
- ・公共交通空白地域が多い。

【自転車の利用状況】

- ・15歳以上の通学者における自転車分担率は24%であるが、通勤者は5%と通学者に比べて低い。通勤における家用車の利用は80%を超えている。
- ・10～15歳の事故は、自転車乗用中の事故により死傷する割合が他の年齢層に比べて高い。
- ・市内の自転車の盗難（平成29年12月末時点）は、前年と比べて24件増加している。
- ・石岡駅周辺にのみ3箇所、合計1,350台収容できる駐輪場が整備されている。

【市民アンケート調査(595名集計)】

- 平日、休日とも自転車をほとんど利用しない方は約75%であるが、自由に使える自転車を所有していない人は約30%程度である。自転車は保有しているが、日常的に自転車は利用しないという生活スタイルとなっているといえる。
- 自転車利用の目的は、平日、休日とも通勤・買い物が多くを占めるものの、サイクリングやレジャーで利用する人は利用者のうち3～4割である。
- 平日よりも休日の自転車利用時間・距離が長い傾向にあるが、休日でも往復5km未満が約75%を占める。
- 自転車を利用する方は、手軽で早く移動できることや健康・運動を理由に挙げている。利用しない方は、移動距離が長いことや車の運転中に自転車が危ないと感じることを理由に挙げている。
- 自転車利用環境に求められているものは、走行環境（自転車道・路面整備など）の充実となっている。また、ルール認知やマナーの向上も挙げられている。
- 自転車保険加入率は30%程度であり、未加入で今後も加入するつもりがない方が40%以上にものぼる。

【高校生アンケート調査(472名)】

- 平日にほぼ毎日自転車を利用する方は約5割であり、通学のために日常的に自転車を利用している高校生は約8割を超える。休日の利用では、休日の度に利用する方が2割いる。
- 通学時には往復で30分以上の利用が約4割であり、1時間以上の利用も約1割を占める。
- 自転車を利用しない方は、多くが自転車では移動距離が長いことを理由に挙げているが、自転車走行中に危ないと感じていることを理由に挙げている方もいる。
- 自転車利用環境に求められているものは、走行環境（自転車道・路面整備など）の充実となっている。また、駐輪場の整備も挙げられている。
- 交通ルールを守らない理由は、危険を感じない、危険を感じるが面倒であることが挙げられているが、その交通ルールを知らなかったという理由が最も多い。
- 自転車保険加入率は60%程度であり、未加入で今後も加入するつもりがない方が20%を占める。

【サイクリスト調査(72名)】

- アンケート対象者は、茨城県内が約75%、その他は千葉県、東京都である。なお、石岡市内の居住者は2名であり、ほとんどが市外のサイクリストである。
- 周辺への訪問は、約9割がリピーターであり、その訪問理由は競技レースやヒルクライムの練習が多くを占めている。
- 走行距離は60km以上が約70%、100km以上も約20%と長距離のサイクリングを楽しんでいる。
- サイクリングの満足度は高く、走りやすさよりもコースに対する満足度が高くなっている。
- お土産の購入者は少なく、また、食事もしない方やコンビニエンスストアで済ませている方が多い。
- サイクリング環境に求められているものは、サイクルステーション・駐輪スペースの充実や走行環境（自転車道・路面整備など）の充実となっている。また、ルール、マナーの向上も比較的高い。
- イベントに参加している方も多く、開催時期については5月、10月の要望が高い。

【小・中学校クイズ】

- クイズでは80%の正解率となっているが、車道の利用義務は39%、13歳未満のヘルメットの着用義務が58%の正解率となっている。

自転車利用者の意識やニーズ把握

上位・関連計画

- 石岡みらい創造プラン(平成25年12月見直し)
交通結節点の機能強化・地域公共交通の利便性/周遊観光/交通安全の推進や防犯対策の充実/健康づくりの活動を支援/生涯スポーツの推進
- 石岡市都市計画マスタープラン(平成29年3月策定)
バスの利用促進/レンタサイクル・サイクリングロード等の整備・充実/緑豊かな丘陵地の活用
- まち・ひと・しごと創生 石岡市総合戦略(平成27年3月策定)
互恵的な広域周遊観光メニューの充実
- 石岡市観光振興計画(平成27年3月策定)
サイクルステーションの充実/霞ヶ浦周遊ツーリングイベントの開催/電気自転車の拡充
- 石岡市景観計画(平成24年11月策定)
自然景観の軸線、近代建築物等、八郷地区の自然・農業、霞ヶ浦の水の豊かな景観を生かした景観づくり/市民・事業者・行政の協働による景観形成の仕組みづくり

自転車利用環境に係わる課題

- 通勤における自転車利用者割合は低い
- 自家用車利用への依存による交通渋滞
- 公共交通空白地域における移動手段の不足
- 駐輪場の不足
- 通学等における自転車乗用中の死傷事故発生頻度が高い
- 自転車盗難事故の増加
- 走行環境(自転車道や路面)の充実に対してニーズが高い
- 自転車走行中に危険を感じる方が多い
- 交通ルール(一部)の認知度が低い
- 交通マナーの向上を求める声が多い
- 小・中学生はヘルメット着用義務の認知度が低い
- 自転車保険加入率は低い
- 平日・休日ともに市民の自転車利用者は少ないとともに、レジャー・サイクリングで利用する人は利用者の内3～4割である
- 移動距離が長いことが自転車利用の妨げになっている

- 平日・休日ともに市民の自転車利用者は少ないとともに、レジャー・サイクリングで利用する人は利用者の内3～4割である
- 恋瀬川サイクリングコースの利用低頻度、改善を求める声多数
- コンビニエンスストア以外での食事や土産購入が少なく、地域資源を見ていない
- サイクリストのイベント参加意欲への対応不足
- 筑波山系や霞ヶ浦等における他市町村との広域連携
- サポートステーション等の受け入れ体制不足
- 走行しやすい案内標識や路面標示の不足

課題の整理

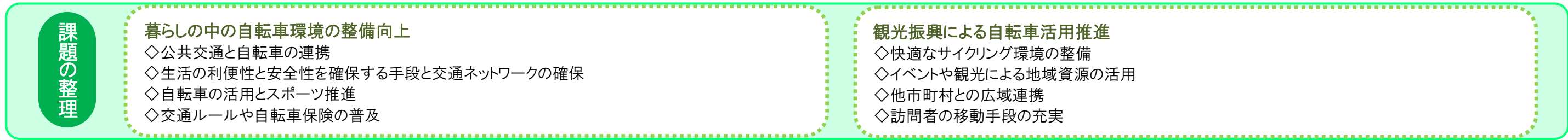
暮らしの中の自転車環境の整備向上

- ◇公共交通と自転車の連携
- ◇生活の利便性と安全性を確保する手段と交通ネットワークの確保
- ◇自転車の活用とスポーツ推進
- ◇交通ルールや自転車保険の普及

観光振興による自転車活用推進

- ◇快適なサイクリング環境の整備
- ◇イベントや観光による地域資源の活用
- ◇他市町村との広域連携
- ◇訪問者の移動手段の充実

石岡りんりんタウン構想の柱立て(案)



石岡市りんりんタウン構想

(短期：3年 中期：5年 長期：10年を想定) 赤字：取組み例

市の目標	暮らしの中の自転車環境の整備			観光振興における自転車活用		
構想	柱立て	実施施策(案)	着手時期	柱立て	実施施策(案)	着手時期
	公共交通との連携強化	●サイクルアンドライドの推進 ・コミュニティバス等との連携 ・シェアサイクルの導入検討 ・サイクルポートの設置検討 ・免許返納者に対する支援	長期	地域資源を活用した回遊	●サイクリング環境の創出 ・恋瀬川サイクリングロードの充実 ・付加価値をつけたサイクリングコースの設定(恋瀬川源流, フルーツとフラワー等) ・ヒルクライムルートの開設(朝日峠等) ・関係人口の創出(地域と多様に関わる人々)	長期
	安全な走行環境の整備	●自転車通行空間の計画的な整備推進 ・自転車ネットワーク計画の策定 ・矢羽・注意喚起標示等の設置 ・モデル的自転車レーン整備	短期			
	駐輪場の確保	●地域のニーズを踏まえた駐輪場整備の推進 ・サイクルラックの拡大・普及 ・駐輪場情報の提供 ・自動車駐車場の駐輪場への転用可能性の検討	短期			
	自転車による健康づくり	●自転車を活用した健康づくりの推進 ・民間企業との連携によるウェルネス講座等 ・健康増進の広報啓発	中期	レンタサイクルを活用した地域振興	●広域的なサイクリングロードの検討 ・筑波山麓の広域連携, 霞ヶ浦湖岸の広域連携 ・サイクルステーション整備の検討 ・サポートステーションの拡大・普及 ・市レンタサイクルの拡充(スポーツタイプや電動アシスト等)	中期
	交通ルール及び自転車保険の普及	●自転車の安全利用の促進 ・ルールブック作成等による通行ルールの周知 ・ヘルメットの購入支援 ・自転車保険の加入推奨に向けた周知・啓発 ・民間企業等との連携 ・安全教育(交通安全教室・講演会等)	短期			
	スポーツ振興・青少年育成	●サイクルスポーツ振興の推進 ・サイクルステーション整備の検討 ・サポートステーションの拡大・普及 ・公園等の有効活用の促進	中期			
	環境に優しい交通手段として活用	●自転車通勤等の促進 ・自転車通勤の広報啓発 ・公共施設等における駐輪場の整備	中期	サイクリングイベント等の開催	●サイクリングイベント等の開催による気運醸成 ・市単独開催(サイクルフェス, ツーリングイベント等) ・広域自治体連携開催 ・情報発信の強化	短期
	災害時における自転車の活用	●災害時における自転車活用の推進 ・電動アシストの有効性及び普及啓発 ・公共施設等への自転車配備による危機管理体制の強化	短期			